

フードドライブ ご協力ください！

ご家庭に眠っている食品はありませんか？

この機会に災害備蓄品の賞味期限をチェックしませんか？

“もったいない”を
“ありがとう”に

「賞味期限までに食べきれそうにない」「たくさんもらって余っている」など、ご家庭に眠っている余剰食品があれば、ぜひ、お持ちください。



“フードドライブ”とは？

家庭で余っている食べきれない食品を持ち寄り、それを必要としている福祉団体・施設などに寄付する活動

家庭・法人

フードドライブ

後日、鳥取県生協で回収

社会福祉協議会・フードバンク
とっとり子ども未来
サポートネットワーク など

福祉団体・施設など

例えば、こども食堂でも活用され、地域の子どもたちへの支援にもなります。

○ 寄付していただきたい食品

- お米(白米・玄米・アルファ米)
- パスタ、素麺などの乾麺
- 缶詰・レトルト・インスタント食品
- 海苔・お茶漬け・ふりかけ
- 粉ミルク・離乳食・お菓子
- 調味料(醤油、食用油など) など

2ヶ月以上賞味期限が残っている
常温保存可能なもの

× 受付できない食品

- × 賞味期限が2ヶ月を切っているもの
- × 開封されているもの
- × 生鮮食品(生肉・魚介類・生野菜)
- × アルコール(みりん、料理酒除く)

ごめんなさい…

上記食品は、お持ちいただいても受取できません。ご理解・ご協力をお願いいたします。

食品ロスとは？

食品がまだ食べられるのに、捨てられてしまうこと

世界では…

世界全体で生産される食料のうちの、

1/3が廃棄

されています。約**13億トン**

日本では…

「食品ロス」は、

646万トン

廃棄される食品のうち
可食部分と考えられる量

事業系 家庭系

357万トン **289万トン**



『食品ロス』と『フードドライブ』

どのご家庭にも、忘れ去られた「食品」が、キッチンの戸棚にあるのではないのでしょうか？
いただき物、バーゲンでまとめ買いしたけれど使い切れなかったもの…など。皆がこれらに気づけば、家庭からの食品ロスは減少するかもしれません。そして、このような眠ったままになっている、または持て余している「もったいない食品」も、場所を変えて、食品を必要とする方々に届けば、「今日を元気に過ごすための命をつなぐ食べ物」として、とても大切なものになります。フードドライブで集めた食品は、地域の福祉団体やこども食堂などですぐに役立ちます。

“もったいない”を“ありがとう”に

お問い合わせ先 **鳥取県生活協同組合** ☎090-2864-5769(中田)

今回の「フードドライブ」は鳥取県生協が鳥取県からの委託を受けて行っています。